

支援部だより

— 3 号 —



令和元年7月10日
鳥取県立鳥取養護学校
発行 キャリア教育部・支援部

★ 高等部校内実習 ★

高等部1年1組は、6月17日(月)～19日(水)の3日間、校内実習を実施しました。これは進路学習の一つで、働くということを知るためのものです。作業の内容も、書類整理・ボールペン組立・清掃・洗濯と多岐にわたりました。生徒たちは実習を通して「やればできる」という自信と、「ここをもう少し頑張ってみよう」という課題を見つけることができました。また、作業終了時の報告や挨拶などの大切さも学びました。

生徒たちがこの実習を今後に活かし、さらに成長してくれることを願っています。(文責：岸本)



根気の要る
作業ですが、
頑張ります！

★ 交流及び共同学習 ★

本校では、「相互のふれあいを通じて、豊かな人間性を育んでいく」ことをねらいとして、本年度も各学部で、様々な形で交流及び共同学習の機会を設定しています。交流及び共同学習は、お互いを尊重する気持ちや態度の育成、共に助け合い、支え合っていくことの大切さを学ぶ場と考え、交流当日だけではなく、事前学習や事後学習等にも取り組んでいます。居住地校交流では、小学部を中心に4名の児童が年間2～3回の交流を行う予定になっています。他校からの交流では、東部の小中学校・特別支援学校より7名の児童生徒を受け入れ、プール学習や教科等の学習と一緒に取り組む予定です。また、各学部で学校間交流も行っており、特別支援学校4校、保育所1所と交流を行っています。(文責：山根)

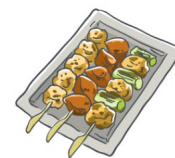


<三校交流会の様子>

本校中学部1組の生徒が盲学校・聾学校の生徒さんと、ゲームをして交流をしました。

★ 卒業生は今・・・ ★

川戸竜太さんの今を紹介します。



川戸さんは平成30年度に本校高等部を卒業し、食品製造の会社に就職しました。

在学中は、「自分のできることを活かせる仕事に就きたい」という思いを持って、積極的に進路実現のためのセミナーに参加したり、職場体験に取り組んだりしました。いろいろな経験を積んだことで自分に合った業務内容や働き方を知ることができ、現在はやりがいや達成感を感じながら仕事を頑張っています。

「大変なこともあるけれど、職場の方々と協力して作り上げた商品をお店で見かけた時は、嬉しい気持ちになります！」と語ってくれました。働く大変さも、楽しさも日々感じながら充実した毎日を送っています。(文責：中村)